

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課		■担当係	工業係
■評価事業名称	工業匠祭事業費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060100 - 223	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	01 技術力・経営力強化への支援		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市工業振興計画			
■事業の概要	「北上市工業匠祭」を通じ、市内の製造業者の相互交流を深め活性化を図るとともに、地域住民に北上市の主産業であるモノづくり産業の実体について、実際に目で見、手で触れ、体験する場を提供することにより、モノづくりの意義やその重要性・おもしろさを理解してもらい、興味を高めることにより、これらモノづくり産業を担う「人づくり」やそれらを支える「地域づくり」を育成し地域発展を図ることを目的とする。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	工業匠祭事業費補助金	北上工業クラブ・一般市民	①北上工業クラブが実施する「きたかみ・かねがさきテクノメッセ」に対する補助金交付: 1回 ②ワーキンググループへの参加 5回	北上工業クラブが実施する「きたかみ・かねがさきテクノメッセ2017」に対する補助金交付: 1回 来場者: 29,300人

3. 投入コスト情報

(単位: 千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費		4,004	1	4,006	
人件費		2,011	451	839	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		6,015	452	4,845	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	参加者人数		28,800人		29,300人	
	イベントに対する補助		4000千円		4000千円	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

過去最大の入場者数となり、学生を含めて広く企業の活動を周知することができた。

問題点・課題等

市内中学生の来場が無く、早期にスケジュールを示すなど、学校行事等の調整が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

人材不足が今後も見込まれることから、学生に対する参加を促し、地元定着を促進していく観点を意識しつつ引き続き継続実施していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了